

## 茨城県における薬剤耐性(AMR)対策の取り組み

茨城県衛生研究所

内田好明、永田紀子、堀江育子、伊師拓哉、金崎雅子、柳岡知子

### 【緒論】

薬剤耐性菌の増加は国際的に大きな課題である。その対策推進のため、2015年WHO総会における「薬剤耐性(AMR)に関するグローバル・アクション・プラン」採択をはじめ、2016年本邦における「薬剤耐性(AMR)対策アクションプラン」策定などの取り組みが進んでいる。このような背景を踏まえて、茨城県では2019年より、茨城県薬剤耐性対策推進会議を組織し、薬剤耐性対策推進事業を進めている。

今回、薬剤耐性対策推進における情報共有を目的に、茨城県における薬剤耐性対策推進の取り組みを紹介する。

### 【薬剤耐性対策推進への取り組み】

#### 1. 茨城県薬剤耐性対策推進会議の設置

抗菌薬への薬剤耐性に対する取り組みを具体的かつ効果的に推進すること目的に、茨城県衛生研究所を事務局として、県内の感染症専門医をはじめとする専門家7名から成る対策推進会議を設置した。

#### 2. 活動内容

- ・ 一般向け啓発動画や医療従事者向け研修動画の制作と配信  
2022年度、3本の啓発動画を制作した。うち2本の動画は、筑波大学芸術学群の講座において、感染症専門医監修のもと芸術専攻の学生が制作した薬剤耐性対策啓発動画である。
- ・ マスメディアによる啓発(地元ラジオ番組やNHKデータ放送など)
- ・ 啓発ポスターの作成と配布(医療機関や学校などへ配布)
- ・ 薬剤耐性に対するアンケート調査(県内医師や一般県民)
- ・ SNSを用いた情報発信
- ・ 調査研究「茨城県における薬剤耐性菌の分子疫学解析に関する試験研究」

#### 3. 今後の活動予定

- ・ マスメディアやSNSなどを用いた従来の啓発活動を継続する
- ・ 2022年度に制作した啓発動画を広く一般県民に向け配信し、啓発を実践する
  - ① ホームページや動画サイトでの配信
  - ② 医療機関や薬局、学校関係施設などに配信
  - ③ 県政出前講座での上映 など

### 【結語】

茨城県では、県内の各専門家から成る薬剤耐性対策推進会議を組織し、薬剤耐性対策推進事業を進めており、2022年度には、医学と芸術、行政の3者の協働により一般向け啓発動画を制作した。今後の展望として、保健所や医療機関などとの連携により、医療関係者、一般県民の双方への普及啓発を考えている。